

# Windows ファイアウォールでのポート開放許可設定 OEM (Oracle Enteries Manager) 画面へ接続許可 Oracle クライアント接続用ネットワーク・ポートの接続許可

## OEM (Oracle Enteries Manager) 画面へ接続許可

手順 1.

### Windows ファイアウォールの解放操作

- [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] → [詳細設定] もしくは、  
[コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] → [設定の変更]  
→ Windows ファイアウォールの設定画面が起動される

手順 2.

### Windows ファイアウォールでの TCP ポートの解放手順

メニュー・[操作] → [新しい規則]

もしくは、画面内の  ボタンをクリックする

・規則の種類

● : ポートを選んで、  をクリック

・プロトコルおよびポート

● : TCP を選び、

● : 特定のローカルポートを選び、ポート番号を入力

をクリック

・操作

● : 接続を許可するを選んで、  をクリック

・プロファイル

: ドメインをチェックし、

: プライベートをチェックし、

: パブリックをチェックし、

をクリック

・名前

許可のための規則を決定して入力し、  をクリックする

## Oracle クライアント接続用ネットワーク・ポートの接続許可 (SQLPlus を使ったクライアントからの接続用)

### 手順 1.

#### Windows ファイアウォールの解放操作

- [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] → [詳細設定] もしくは、  
[コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] → [設定の変更]  
→ Windows ファイアウォールの設定画面が起動される

### 手順 2.

#### Windows ファイアウォールでの TCP ポートの解放手順

メニュー・[操作] → [新しい規則]

もしくは、画面内の ポートの追加 ボタンをクリックする

##### ・規則の種類

● : ポートを選んで、 次へ をクリック

##### ・プロトコルおよびポート

● : TCP を選び、

● : 特定のローカルポートを選び、ポート番号を入力 1521

次へ をクリック

##### ・操作

● : 接続を許可するを選んで、 次へ をクリック

##### ・プロファイル

: ドメインをチェックし、

: プライベートをチェックし、

: パブリックをチェックし、

次へ をクリック

##### ・名前

許可のための規則を決定して入力し、 完了 をクリックする

**【参考情報】** FTP などの可変ポート番号を使用する場合のネットワーク接続許可ポートの指定方法

手順 1.

**Windows** ファイアウォールの解放操作

- [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] → [詳細設定] もしくは、
- [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] → [設定の変更]
- Windows ファイアウォールの設定画面が起動される

手順 2.

**Windows** ファイアウォールでの TCP ポートの解放手順

- メニュー・[操作] → [新しい規則]
- もしくは、画面内の **プログラムの追加** ボタンをクリックする
- ・プログラムの追加画面
  - 参照** をクリック
  - ・対象のプログラムのパスを指定する。
    - 参照画面にて、プログラムのディレクトリをたどっていく
  - ・プログラムが指定できたら、**O K** をクリックする

※ オラクル・リスナー用プログラム tnslnsr.exe は、ORACLE\_HOME¥BIN ディレクトリに存在する

**【注意】** 指定するのは、listener.ora や tnsnames.ora ではない